

幕末から明治の牛深の歴史を学ぶ

牛深地区公民館・くたま市民学級



▲講演を行う片白さん

3月17日、牛深地区公民館主催の「くたま市民学級」がくたまふれあいセンターで開かれ、地域住民など35人が受講しました。郷土史家の片白健次さんを講師に招き、「天草の歴史と偉人たち」と題した講演を実施。幕末から明治の牛深の歴史や、当時活躍した牛深町出身の眼科女医・宇良田タダさんなどの話しに受講者は熱心に聞き入っていました。

大自然を満喫

角山官山ウォーキング



▲川にかかった板木を渡る参加者

「角山官山ウォーキング」が3月20日、天草町の福連木子守唄公園から角山山頂までの4.5kmを往復するコースで開かれ、市内外から90人が参加しました。福連木里づくり振興会が、かしの木が自生する歴史的に貴重な角山を知ってもらおうと開催したもので、今回で4回目。参加者は、川にかかった板木を渡り道中の落ち葉を踏みしめながら散策し、大自然を満喫していました。

貴重な交通手段として期待

新和町で「巡回バス」が運行開始



▲運行を開始した巡回バス

4月5日から新和町で「巡回バス」の試験運行が始まりました。このバスは、既存のバス路線から離れている地域を巡回するもので、碓石・大宮地コースと上大多尾コースを週2回(火・金)、1日3便運行します。運行開始にあたり出発式が市新和支所前で行われ、多くの関係者が見守る中、午前8時20分発の第1便が出発しました。民間路線バスにも接続し乗り換えが可能となっており、市民の貴重な交通手段として期待されます。

夢はオリンピック出場

本渡中学校の生徒が空手道日本一に!



▲表彰状を手にする吉田くん(右から3人目)

3月28日から30日まで北海道で開催された「第10回全国中学生空手道選抜大会」の中学2年男子形の部で優勝した本渡中学校3年の吉田啓希くんが、4月8日に中村市長を訪問し優勝を報告しました。吉田くんは保育園から市内の空手道場「松武会躰心塾」で練習に励み今回の栄冠に輝きました。市からは市の名前を全国的に知らしめたとして表彰状が贈られました。吉田くんは「将来はオリンピックに出場したい」と笑顔で話していました。

戦没者を慰霊し、世界の恒久平和を願う

第11回天草戦没者追悼式



▲献詠を行う参列者

4月2日、戦争で尊い命をなくされた戦没者の霊を慰めるため、天草市・上天草市・天草郡苓北町の2市1町合同による「第11回天草戦没者追悼式」が天草市民センターで行われ、戦没者の遺族など460人が参列しました。戦没者之霊位に献詠、献歌などを行い、亡くなられた人たちのめい福をお祈りするとともに、二度と悲しみの歴史を繰り返すことのないよう、世界の恒久平和を祈念しました。

手作りコサージュに思いを込めて

卒園・卒業する子どもたちへコサージュ贈呈



▲入所者と児童たちで記念の1枚

栖本町の養護老人ホーム「梅寿荘」の入所者が、町内の保育園や小・中学校を卒園・卒業する児童・生徒などへ手作りコサージュを贈呈しました。“地元を忘れないで”との思いで、平成元年から毎年送っているもの。3月22日には、栖本小学校の6年生12人が同ホームを訪問し、贈呈式を実施。児童を代表して猪原滉太くんが、「胸に大切に付けて立派に卒業します」とあいさつしました。

笑顔でウォーキングを楽しむ

一町田地区さくらまつりウォーキング



▲笑顔で歩く参加者

河浦町の一町田地区振興会主催の「さくらまつりウォーキング」が3月26日、同地区コミュニティセンター前発着の5kmのコースで開かれ、住民など200人が参加しました。参加者は、同地区を流れる一町田川沿いのコースを思いおもいのペースで散策。その後、昼食で豚汁がふるまわれたほか、市と友好交流都市協定を結んでいる北海道浦河町や地元の特産品などが当たる抽選会も行われ、大盛況でした。

感謝を込めてお見送り

御所浦小学校・異動教員の送別式



▲教員を見送る子どもたち

3月30日、4月の定期異動で御所浦町を離れる御所浦小学校6人の教員のお見送りが行われました。児童や保護者、地域住民など60人が御所浦港の棧橋に集まり、児童たちは何度も「ありがとうございました」と言いながら、花束や寄せ書きなどを手渡していました。児童たちは、紙テープを手にも涙を見せる教員に別れを惜しみながら、船が見えなくなるまで手を振り見送っていました。